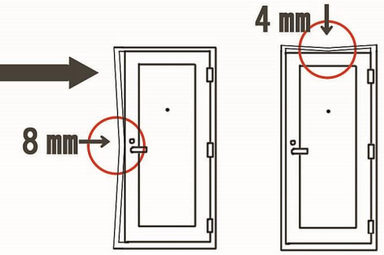
≪対震ドア基準性能≫

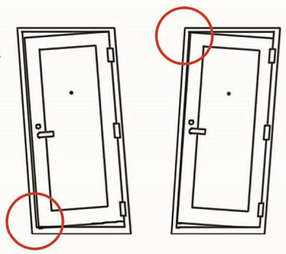
■局部変形追随性は　（淡路神戸地震・熊本地震）
（直下型地震）

※たて枠（戸先側）中央部変位量 8 ㎜上枠中央位置 4 ㎜
に対して 500N 以下でドアを開放。→**BL 基準**



■面内変形追随性は　（宮城県沖地震・東日本大震災）
（プレート境界型地震）

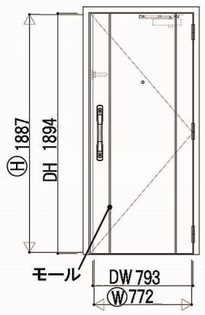
※建物がドア枠の変形（面内変形）に対し D3<JISA4702>
層間変位 1/120 時に対し 500N 以下でドアを開放。→**JIS 基準**

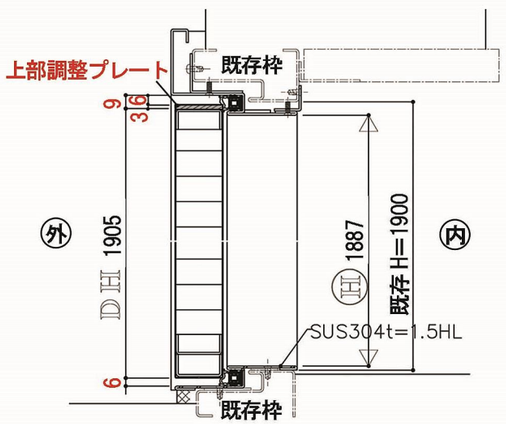


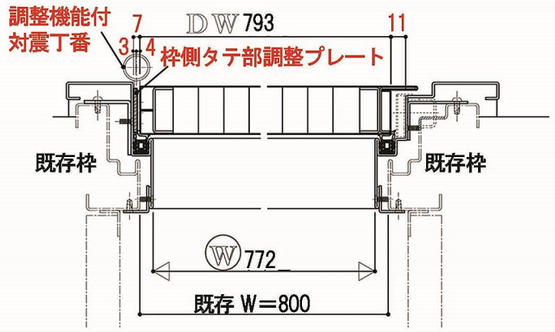
局部変形・面内変形を受けても枠と扉の接触を緩和し 500N 以下で扉を開けることを条件。
500N 以下【扉開放力（kg）】とは扉を開けられる力は 50 kg以下。
扉開放力は成人男性 100 ～ 120 kg、 成人女性 60 ～ 80 kgと考えられています。

調整機能付対震ドア
『スーパーカバー工法』

外観図







『スーパーカバー工法』は上記 BL・JIS 基準性能と調整機能部品で費用対効果コスパが高い評価になります。

Kindex 【設計・施工・販売】
株式会社 キンデックス建材
http://www.kindex.co.jp/
〒841-0201 佐賀県三養基郡基山町大字小倉 522　TEL 0942-81-7120　FAX 0942-81-7230

取扱店

新仕様　震災後、玄関ドアの開閉・戸締まりをしやすくする構造に！

『集合住宅マンション用玄関ドア取替工事』

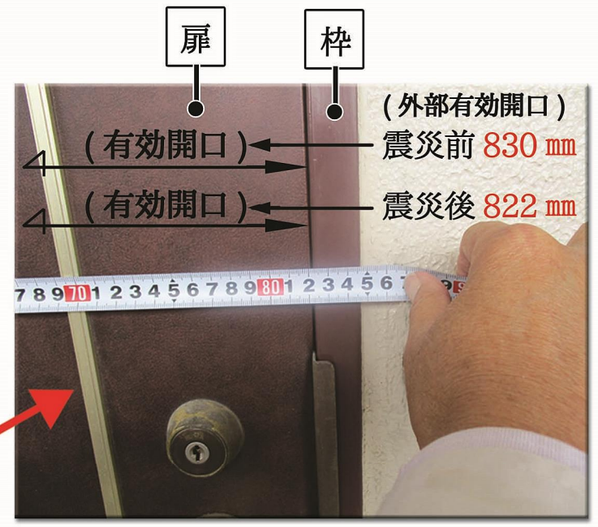
調整機能付対震ドア『スーパーカバー工法』

Ⅰ 対震枠構造 ＋ Ⅱ 調整機能付対震丁番構造 ＋ Ⅲ 対震機能部材構造

※3 つの対震構造で「安全で安心な暮らし」を守る!!

（熊本地震画像・H28.4.20）

枠の震災前・震災後



【住まいの震災対策】
調整機能付対震ドア
『スーパーカバー工法』で
対震リノベーションドアを実現 !!

Kindex

今迄の震災後の教訓で、 玄関ドアは開放・開閉・戸締まりをしやすくする構造で・・・『再利用できるドアがベスト』

Ⅰ 対震枠構造 ＋ Ⅱ 調整機能付対震丁番構造 ＋ Ⅲ 対震機能部材構造 3 つの構造を生かした 対震玄関ドア『スーパーカバー工法』

≪業界初のスーパーカバー工法≫

調整機能付対震ドア『スーパーカバー工法』とは、Ⅰ既存枠の上に新しい枠を取り付け扉と枠のクリアランスを大きくとる構造（対震枠仕様⇒局部変形対応）と、Ⅱ丁番内部に圧縮スプリングで扉下方向へ動く調整機能付 対震丁番構造（対震丁番仕様⇒面内変形対応）さらに、Ⅲ扉側 上部調整プレートと吊元枠側丁番 タテ部調整プレートを取外し、扉と枠のクリアランスをさらに大きく（各 3 ㎜）とる事や、 対震ドアガード対震ストライクでドアの変形、 吸収を助けながら戸締り、 再利用を一段としやすくしました。

調整機能付 対震ドア『スーパーカバー工法』
対震ドアの 3 つのスマイル評価は・・・

理想の対震ドア 3 つのスマイル評価とは！

① 安全性	震災時、 小さな力でドアを開放することが可能！	☺
② 機能性	震災後、 小さな力でドアを開閉することが可能！	☺
③ 耐久性	震災後のドアの戸締り及び再利用が可能！	☺

※理想の対震ドアは一般ドアとの比較評価になります。
但し地震の強度等で対応できない場合があります。

リユース特別仕様 ‹ドアの再利用›

バタフライヒンジ（調整機能付対震丁番）で
安全性、 機能性、 耐久性のあるドアを実現！

調整機能付 対震ドア『スーパーカバー工法』は 5 つの部材 ➡ ☺

2 上部調整プレート 3 ㎜（特許出願済）

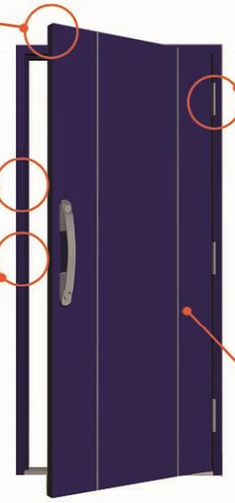
- 波型コーティング仕上げで小さな力で開放
- 震災後上部プレートを取外し調整。（3 ㎜隙間確保）

3 対震用ドアガード

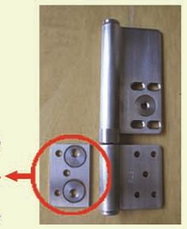
- ドアの歪みを吸収。

4 対震ストライク

- 戸先部への側圧を緩和する。
- 変形対応ストライクを採用しています。



1 バタフライヒンジ（特許出願済）調整機能付対震丁番
- 内部スプリングがドアの歪みを吸収。
- 枠扉の出入り隙間を微調整可能。
- 震災後枠側丁番のタテ部調整プレートを取外し調整可能。（3 ㎜隙間確保）



5 扉本体（対震・防犯仕様）
- 枠と扉が調整機能付（特別仕様）で接触せず扉を開放・開閉・戸締りをしやすくしました。